

# 第31回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会

# 全日本プール

## チーム参加募集要項

## チーム1次要項

2018年3月26日



第31回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会  
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「第31回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会」を国際ライフセービング連盟の公認大会として開催いたします。つきましては開催にあたり参加選手の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

### 記

- 日 程 2018年 5月19日(土)～20日(日)
- 場 所 横浜国際プール (神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1)  
横浜市営地下鉄「北山田」駅から徒歩5分
- 主 催 日本ライフセービング協会
- 公 認 国際ライフセービング連盟
- 後 援(予定) スポーツ庁、神奈川県、日本水泳連盟、神奈川県水泳連盟、日本赤十字社
- 協 賛 株式会社三洋物産/株式会社三洋販売
- 協 力(予定) 有限会社吉田三郎商店、日本ライフセービング協会神奈川県支部
- 競技種目 [個人種目]

- ※ 200m障害物スイム(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 200m障害物スイム(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 50mマネキンキャリア(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 50mマネキンキャリア(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 100mレスキューメドレー(女)
- ※ 100mレスキューメドレー(男)
- ※ 100mマネキンキャリア・ウィズフィン(女)
- ※ 100mマネキンキャリア・ウィズフィン(男)
- ※ 100mマネキントウ・ウィズフィン(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 100mマネキントウ・ウィズフィン(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-6参照
- ※ 200mスーパーライフセーバー(女)
- ※ 200mスーパーライフセーバー(男)

### [チーム種目]

- 4×50m障害物リレー(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- 4×50m障害物リレー(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- 4×25mマネキンリレー(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- 4×25mマネキンリレー(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- 4×50mメドレーリレー(女)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- 4×50mメドレーリレー(男)(中学生参加可能種目) ※選手参加規定1-7参照
- ラインスロー(女) 全レーン使用で実施
- ラインスロー(男) 全レーン使用で実施

### [SERC種目]

シミュレーテッド・エマージェンシー・レスポンス競技(SERC)

- ◆ 個人種目については、エントリーする条件として「エントリー標準タイム」を設定します（詳細は別紙「エントリー標準タイムについて」を参照してください）。標準タイムを超過している場合には、該当種目に出場できませんのでご注意ください。
- ◆ 下線のある種目は、タイム決勝で行います。
- ◆ SERC 種目は、1 チーム 4 名とします。この競技に参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。また SERC 種目は、2008 年度より「必須種目」から他の種目と同様「エントリー種目」に変更しておりますので、SERC 種目に参加希望の場合は、「チーム登録/チーム種目登録」のエントリーフォームに必ず「1」をご入力下さい。
- ◆ チーム種目および SERC 種目は、各チームから 1 チームのみのエントリーとします。
- ◆ チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められません。

■ **競技規則** JLA 競技規則 2016 年版に別紙「ILS 公認に伴う競技規則の変更／追加について」記載の変更追加を加えた競技規則に従って実施します。  
**※ルールを十分に理解し出場して下さい。**

#### ■ **ドーピング検査について**

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ② 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ③ 18 歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
- ⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

#### ■ **タイムテーブル**

別紙ご参照下さい。  
 ※ 確定版は、エントリー締切・集計後にご案内致します。

■ **得点方法** タイム決勝及び決勝の結果に対して得点が加算されます。個人、チーム種目および SREC 種目とも同じ得点とし、配点は下記の通りとします。

**1 位-8 点、2 位-7 点、3 位-6 点、4 位-5 点、5 位-4 点、6 位-3 点、7 位-2 点、8 位-1 点**

- ① チームの総合得点が同点の場合は、1 位の種目の多いチームを、1 位の種目が同数の場合は、2 位の種目の多いチームを…というように総合順位を決定します。
- ② 総合順位は、本大会で実施する 21 種目中、16 種目（実施種目の 80%）以上の最終競技結果をもって成立するものとします。
- ③ 決勝で失格の場合は 0 点とします。

■ **表彰** 各競技上位 1～8 位を入賞とします。1～3 位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により上位 1～3 位を表彰します。

■ **外国人選手（日本国以外に国籍を持つ者・日本国永住者は除く、また日本国に住民票登録のない日本国籍を持つ者）の出場登録について**

以下の条件を満たす海外選手は国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能ですので、別紙「オープン参加規定」をご参照ください。

- (1) 大会参加規程に準じていること

- (2) ILS に加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること。  
(3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること。 ※JLA ホームページに掲載  
※原則として、(2)(3)の書類提出期限は、参加申し込みと同様とさせていただきます。

#### ■参加費

- ① 選手1名につき8,000円(※高校生3,000円・中学生3,000円)  
但し、個人種目のエントリーは、選手1名につき2種目までとし、チーム種目およびSERC種目はこの限りではありません。  
なお、参加費とは別に、デジエントリーの手数料が別途発生いたします。  
② 本大会は、申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更は受付いたしませんのでご注意ください。 また、エントリーミスにより大会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

#### ■代表者会議

競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議を5月19日(土)競技開始前(予定)に開催します。詳細につきましては2次要項にてチーム代表者宛にご連絡いたします。

#### ■観覧席

安全管理上、各チームの観戦席の区分を予め主催者側で決めさせていただきますのでご了承ください。詳細は2次要項にてお知らせいたします。

#### ■その他

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方はJLAホームページ「ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書」を出力し、JLA事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より1年以内の期間で受付をいたします。

#### ■申込方法

下記①から③の手続きをもって受付とします。どちらか一方だけでは受付いたしません。送信の前にご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。2次要項のご案内およびその他ご連絡は、メールまたは郵送にて通知いたしますので、迷惑メール対策をされている方は、デジエントリーからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。2次要項はJLAホームページでも掲載いたします。

※各種締切日は次ページ参照ください

#### ① チーム登録/チーム種目登録

チーム責任者/担当者のご登録をお願いいたします。チーム種目のエントリーもこの様式にて行います。JLAホームページより、「チーム登録/チーム種目登録」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに下記メールアドレスへデータ提出ください。

なお、同様式にて「チーム選出審判員」「SERC競技補助員」の情報も提出ください。

##### ●送信先→[compe@jla.gr.jp](mailto:compe@jla.gr.jp)

- ・ファイル名：チーム名(LSCなどは省略)にて保存
- ・件名：「チーム名」と「チーム登録」をご記載ください。

#### ② 個人種目登録

個人種目のエントリーは「デジエントリー」を利用してお申込みください。チーム種目のみに出場される方もご登録が必要となります。リレーメンバーは、前記登録済選手の中から、大会当日ご登録(オーダー表を大会当日にご提出)いただきます。なお、デジエントリーには「グループエントリー」の機能がありますのでこちらもご利用可能です。

##### ●デジエントリー→<http://dgent.jp/>

「デジエントリー」→「ライフセービング」と進み、本競技会を選択し、エントリー手続きをお進めください。

#### ③ 【18歳未満の方のみ】ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書

18歳未満の方は、ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書の提出が必要となります。JLAホームページより、「ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに郵送提出ください。

##### ●提出先→〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階

日本ライフセービング協会・全日本プール競技会担当 宛て

## ■ 提出物と締切のまとめ

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
書類関係	①選手登録 ※チーム種目のみに出場の選手も登録必須	デジエントリー <a href="http://dgent.jp/">http://dgent.jp/</a>	2018年4月17日(火)23:59 受信分まで
	②チーム登録/チーム種目登録	データ提出(メール) ※様式ダウンロード; JLA ホームページより	2018年4月17日(火)23:59 受信分まで
	③18歳未満の競技者親権者同意書(ドーピング検査)	郵送提出のみ ※様式ダウンロード; JLA ホームページより	2018年4月17日(火)当日消印有効
	④審判員・スタッフ申込	デジエントリー <a href="http://dgent.jp/">http://dgent.jp/</a>	2018年4月17日(火)23:59 受信分まで
費用関係	⑤大会参加費の振込 ※チーム種目のみに出場の方も必須	① 選手登録時に、デジエントリーから	デジエントリーから指定される期限内
	⑥会員登録及び個人年会費の納入(2018年度)(一般会員/高校生会員/正会員)	<a href="http://www.jla.gr.jp/home.htm">http://www.jla.gr.jp/home.htm</a> 「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	2018年4月17日(火)までに振込完了
	⑦団体年会費(2018年度)		
注)	<p>※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。</p> <p>※参加規程を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、参加規程「11 認定審判員の選出」に基づく、認定審判員の書類提出がない団体は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p>		

## ■ お申込み・お問合わせ先

日本ライフセービング協会事務局 (業務時間：平日 9:00-18:00)

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1階 TEL：03-3459-1445 FAX：03-3459-1446

## 第 31 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 参加規程

### 1 参加資格

競技者の参加資格は下記の 7 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満 15 歳以上でなければならない。但し、中学生を除く。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、本協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した者でなければならない。但し、中学生を除く。
- 1-3 競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員もしくは個人高校生会員として申込締切日までに登録されていなければならない（申請中も含む）。※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込下さい。但し、中学生を除く。
- 1-4 エントリー標準タイムが設定されている種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下（チーム代表の責任において申告すること）でなければならない。

エントリー標準タイムとは、当該種目に出場するための最低限の泳力を示すもので、当該種目に出場するためにはエントリー標準タイム以下であることが条件です。エントリー標準タイムから著しく遅い（目安；①エントリー標準タイム+10% ②体力不足による DNF）場合、当該競技者のチーム代表者に対して事情確認をさせていただき、本大会の他の種目の出場停止、及び次年度の本大会（第 32 回大会）を出場停止とする。ただし、JLA 公式・公認大会において、エントリー標準タイムをクリアし証明書を提出することで、出場停止は解除される。

以下、対象大会

- ・神奈川県ライフセービング・プール競技選手権大会
- ・全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

チーム代表者の方は、各選手がエントリー標準タイムを突破しているかどうかのご確認をお願いいたします。

- 1-5 競技者（一般）は、ベーシックまたはプール LG、高校生は、BLS および WS の資格以上を所有していなければならない（中学生は、BLS および WS 推奨）。※申込締切期日までに、必ず規定以上の資格を取得していること。
- 1-6 中学生は、過去に本協会が開催するユースプール競技会に出場した実績を有すること。
- 1-7 中学生は、上記 1-6 を満たしている場合のみ、チーム種目、4×50m 障害物リレー（女・男）・4×25m マネキンリレー（女・男）・4×50m メドレーリレー（女・男）に参加を認める。

### 2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、もしくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1 団体からの出場は 1 チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

### 3 チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

### 4 出場登録

参加選手は個人種目をデジエントリーより、チーム種目および SERC 種目はデータ提出により、出場種目の登録をしなければならない。

### 5 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おかななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。また、チーム代表者は必ず代表者会議に参加しなければならない。なお、止むを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

### 6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。

- ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般常識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会の申込締切（2018年4月17日）前までに本協会に登録が完了していなければならない。
- 6-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。  
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。登録をしていないクラブは、別紙チームキャップ登録申請書を届出しなければならない。
- 6-6 SERC 種目において、チームリーダーは、主催者側で準備したキャップをかぶらなければならない。

## 7 表彰

- 7-1 日本ライフセービング協会理事長杯  
総合優勝チームには理事長杯が贈られる。またチーム総合1～3位には表彰状を授与する。
- 7-2 種目別表彰  
各競技上位1～8位は入賞とし、そのうち1～3位には表彰式にてメダルを授与する。

## 8 参加費

- 8-1 参加費は、出場する種目数にかかわらず1名につき8,000円とする（※高校生・中学生は3,000円）。
- 8-2 参加費は、デジエントリーが指定する方法により、所定の期限までに支払わなければならない。
- 8-3 参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 8-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

## 9 競技器材

- 9-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 9-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキンは、主催団体が用意するものとする。
- 9-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。  
競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないかまたは失格となる。

## 10 競技規則

- 10-1 200m障害物スイム（男女）、50mマネキンキャリア（男女）、100mレスキューメドレー（男女）、100mマネキンキャリア・ウィズフィン（男女）、100mマネキントウ・ウィズフィン（男女）、200mスーパーライフセーバー（男女）、ラインスロー（男女）については、競技進行上、時間的な制限により、タイム決勝（予選を行わず、決勝のみ）で行う。
- 10-2 SERC 種目は、1分30秒間で実施する。
- 10-3 チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められない。
- 10-4 大会記録についても、日本記録と同じ種目とする。

## 11 認定審判員の選出

- 11-1 参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない  
選手 5～20名＝認定審判員1名、21～40名＝2名、41名以上＝3名とする。また、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。  
両日にわたり必要人数の選出がない（＝大会当日に必要な人数の審判員の参加のない）チームは、本大会への出場を認めない。（チーム全体の不参加とする）
- 11-2 参加する審判員は、デジエントリーにより審判員・スタッフ参加申し込みを行うこと。
- 11-4 選出する審判員は、C級認定審判員資格以上を取得していること。  
※申込締切期日までに、必ず審判員資格を取得していること。  
※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込下さい。
- 11-5 選出する審判員は2日間を通じて参加できること。なお、2日間を通じて審判員を選出できないとき（やむを得ず参加日ごとに審判員が入れ替わる場合）は、主催者は距離に近い方の1名分の交通費（上

限¥5,000円)のみを支給する。

- 11-6 参加に関わる交通費、朝食、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。  
(準一般会員の方には宿泊の準備・交通費の支給はございません)
- 11-7 選出する審判員は、BLSの資格以上を所有していなければならない。  
※申込締切期日までに、必ずBLS以上の資格を取得していること。

## 12 競技補助員の選出

- 12-1 SERC種目参加チームは、SERC種目の競技補助員を1名選出しなければならない。また、何かの理由で競技補助員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。補助員の参加がない場合は、SERCに参加できない。  
※SERCに参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。
- 12-2 競技補助員は、登録選手や審判員以外から選出することが望ましいが、止むを得ぬ場合はSERC種目出場以外の選手や審判員と兼ねることができるものとする。
- 12-3 競技補助員の参加に関わる昼食は主催者が負担し、交通費、宿泊費は各参加クラブが負担する。

## 13 その他

- 13-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 13-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 13-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

以上